

連携授業指導案 例1

「古代の生活を体験しよう」

1. ねらい

- 歴史学習のはじまりにあたって、古代の人々の暮らしを体験し、関心や意欲を高めるとともに、生活の知恵や工夫を学ぶ取る。

2. 準備物

- ◆博物館：石器、土器、鳴らせる銅鐸、銅鐸（複製）、農具、竪穴住居キット、貫頭衣、火おこしセット、メジャー
- ◆学校：ティッシュ、ゴミ袋、バケツ（消火用水入り）
- ◆児童生徒：動きやすい服装、水筒、軍手、うちわ

3. 実施場所例

（晴天時）運動場 （雨天時）体育館及び多目的室のような部屋、ひさしのある外の場所

4. 授業の流れ

学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
<p>全体学習</p> <p>グループ活動① 人類の出現と道具について 石器、土器、銅鐸</p>	<p>○人類出現と道具の使用について知る。</p>  <p>○古代の道具について知り、触れる。</p> 	<p>◇挨拶・講師紹介</p> <p>◇グループごとに指導 40分程度でローテーションする。</p> <p>◇既習事項と関連させて確認をする。</p> 
<p>グループ活動② 竪穴住居、貫頭衣</p>	<p>○竪穴住居について知り、組み立てる。</p> 	
<p>グループ活動③ 火おこし体験</p>	<p>○火について知り、火をおこす。</p> 	
<p>まとめの話</p>		

※3つの活動全てではなく、一部の実施も可能です。

連携授業指導案 例2

「国宝・桜ヶ丘銅鐸」

1. ねらい

- 神戸市内（灘区桜ヶ丘町）から出土した国宝桜ヶ丘銅鐸について知る。
- 資料をじっくり観察し、銅鐸に描かれている絵について考える。
- 銅鐸を通して弥生時代の人々の暮らしについて考える。


2. 準備物

- ◆博物館：桜ヶ丘銅鐸・銅戈（複製・復元）数個、桜ヶ丘銅鐸のカラーコピー、PC、ワークシート
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード、PC接続ケーブル
- ◆児童生徒：筆記用具

3. 実施場所例

- 図書室や理科室のように、大きな机でグループ活動ができる部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	桜ヶ丘銅鐸の発見	○発見されたいきさつについて知る	◇パワーポイントで解説する。 。
展開	15	銅鐸の観察	○銅鐸を観察し、描かれている絵をワークシートにスケッチする。  ○それが何の絵であるかを予想して記入する。 ○自分たちの予想を発表する。 ○解説を聞く。	◇弥生時代の生活を想像して、自由に考えさせる。 ◇「4号銅鐸」「5号銅鐸」ともに観察させる。 ◇それぞれが意見を発表し、多数の意見だけでなく、よく考えられた意見を取りあげるよう助言する。 ◇発表をすべて聞いた後、評価と補足説明
まとめ	40 45	絵に託した弥生時代の人々の願い	○弥生時代の人々がどんな思いで銅鐸に絵を描いたのか理解する。 ○解説を聞く	◇弥生時代の人々の銅鐸に託した思いを理解させる。

連携授業指導案 例3

「源平合戦図屏風から見える平家物語」

1. ねらい

- 資料を読み解き、観察する楽しさを味わう。
- 源平合戦が古代の貴族政治から中世の武家政治への重要な節目となったことを理解する。
- 「平家物語」が国民文学として受け継がれていることを知る。


2. 準備物

- ◆博物館：源平合戦図屏風（複製 一の谷・屋島の戦い）、PC、ワークシート
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード
PC接続ケーブル、長机4台（2台直列で、屏風1隻がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	屏風とは何か 屏風の見方 (一の谷合戦図)	○屏風について説明を聞く。 ○屏風に描かれている逆落としや敦盛の最期の場面を知る。	◇屏風・源平合戦・平家物語の基本的な解説をする。 ◇「逆落とし」「敦盛最期」の場面解説をする。
展開	20	屏風から探そう (屋島合戦図) ①文章の読み取りと屏風の観察 A.「嗣信最期」 B.「那須与一」 C.「弓流し」	○3つの平家物語の文章を読む。 ○実際に屏風を観察し、その場面が描かれている部分を探すとともに、具体的な事物について確認する。	◇屋島合戦図屏風にも代表的な場面が描かれていることを示唆する。 ◇それぞれの場面について、簡潔に説明する。
	35	②解説	○解説を聞く。	◇それぞれの場面について、補足説明をする。
まとめ	40 45	国民文学としての平家物語について	○まとめの話を聞く。 	◇琵琶法師の語りによって一般庶民も楽しめた平家物語が国民文学として受け継がれてきたことを説明する。また、資料をじっくり観察することの大切さとおもしろさについてふれる。



連携授業指導案 例4

「はるかなる西洋との出会い」

1. ねらい

- 資料をじっくり観察し、発見する楽しさ、気づく楽しさを味わう。
- キリスト教と南蛮貿易の密接な関係について理解する。
- 神戸市立博物館がザビエル像や南蛮屏風を所蔵している由来と、資料の保存について知る。

2. 準備物

- ◆博物館：火縄銃（複製）、聖フランシスコ・ザビエル像（複製 額装）、南蛮屏風（複製 右隻・左隻）、PC、ワークシート
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード、PC接続ケーブル、長机4台（2台直列で、屏風1隻がのります）
- ◆児童生徒：教科書・筆記用具

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	鉄砲とキリスト教の伝来	<ul style="list-style-type: none"> ○火縄銃とキリスト教の伝来について知る。 ○ザビエル像を神戸市立博物館が所蔵している理由を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇既習事項と関連させながら確認する。 ◇神戸市立博物館が所蔵している経緯を池長孟氏と関連させて説明する。
展開	20	南蛮屏風を観察	<ul style="list-style-type: none"> ○南蛮屏風に描かれた絵画を観察する。 ○屏風と作者について知る。 ○ワークシートに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇屏風と狩野内膳についてふれる。 ◇10名程度ずつ、屏風で探させる。（他はワークシートで） ◇キリスト教・南蛮貿易・日本人や南蛮人のようすについて説明する。 ◇南蛮貿易とキリスト教の布教が一体のものであったことについてふれる。
まとめ	40 45	文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○南蛮屏風の素晴らしさと文化財の保護について知る。 ○左右並んだ屏風を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇狩野内膳の南蛮屏風の魅力や豊臣秀吉との関係について説明する。 ◇資料に触れたり、じっくり観察したりすることの大切さとおもしろさについてふれる。

連携授業指導案 例5

「伊能忠敬の日本地図」

1. ねらい

- 幕末の社会的背景の中での伊能忠敬の人物像を知る。
- 作業を通して伊能図の正確さを体感し、昭和初期まで伊能図を基にした地図が使用されてきたことを理解する。
- 資料を観察し、気づいたことを自らの言葉で表現することができる。




2. 準備物

- ◆博物館：伊能小図（複製 西日本・北海道）、小方儀、PC
作業用地図（伊能図・現代地図）
- ◆学校：大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、PC接続ケーブル、トレーシングペーパー（A4サイズ・1人1枚）、
長机5台+4台（伊能小図がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具、バインダーのようなもの（もしくはA4サイズの厚紙&クリップ）

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	伊能図と伊能忠敬について	○伊能忠敬の人物像や測量をはじめた経緯、伊能図の種類などを学習する。	◇パワーポイントで伊能図を提示する。
展開	20	①伊能の地図と今の地図を比べてみよう！ 	○伊能小図の神戸周辺部拡大プリントを使用し、現在の地図と比較する。 ・拡大図にトレーシングペーパーを重ね合わせて海岸線を写し取る。 ・写し取った後、現代地図（コピー）を重ね合わせて比較する。 ・観察したことについて発表し、それについての解説を聞く。	◇写し取らせながら、地図から気づいたことがないか、考えさせる。 
	30	②伊能図の観察と詳細解説	○伊能小図を見ながら解説を聞く。 	◇記号や色の意味や、2種類の地図の特徴を解説する。
まとめ	40	伊能と伊能図のその後	○伊能と伊能図のその後について知る。	◇原本が焼失していることや写本が昭和期に入っても活用されていたことなどを説明する。
	45			

連携授業指導案 例6

「神戸から見る文明開化」

1. ねらい

- 地域に関係のある教材を積極的に活用し、身近な地域の歴史に対する興味関心を高める。
- さまざまな資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら近代都市へと変容していく様子を考察する。


2. 準備物

- ◆博物館：長谷川小信 画 『摂州神戸新建西洋館市街賑イ之図』（複製）
『神戸名所之内蒸気車相生橋之景』（複製）、それぞれのコピー（児童生徒数分）
神戸外国人居留地計画図（複製）、鉄道レール（実物）、PC
- ◆学校：大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、
PC接続ケーブル、ホワイトボード&マーカー（または黒板&チョーク）、
長机3台（神戸外国人居留地計画図がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具

3. 実施場所例

- 図書室や理科室のように、大きな机でグループ活動ができる部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	神戸のイメージ 開港と外国人居留地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが住んでいる神戸のイメージを発表する。 ○開港当時の神戸のようすを、当時の新聞から考察する。 ○神戸外国人居留地の形成について考え、地図で位置を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇港町神戸のイメージを膨らませる。 ◇開港と居留地の建設が外国文化を受け入れる背景となったことに気づかせる。 ◇現代の位置と繋がる様に解説する。
展開	20	文明開化	<ul style="list-style-type: none"> ○錦絵を見て、外国からどのような文化や習慣、生活用具が取り入れられたのかを話し合う。 ○グループごとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇発表を聞いて、補足説明をする。 ◇神戸に関係のある教材を活用することにより、身近な地域の歴史に対する興味・関心を高めさせる。
	35		○解説を聞く。	
まとめ	40	近代化を象徴する実物資料	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道開通当時のレールを観察する。 ○代表者がレールを持ち上げ、その重さを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鉄道開通に象徴される神戸の近代化について補足説明をする。 ◇さまざまな歴史資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら近代都市へと変容していったことを理解させる。
	45			

連携授業指導案 例7

「浮世絵入門」

※図工・美術向

1. ねらい

●版木を用いて浮世絵を摺る体験を通して、浮世絵文化の楽しさや、掘り師や摺り師の技術の高さを実感する。




2. 準備物

- ◆博物館： 版木等印刷セット一式、浮世絵（実物）、PC、模写用ワークシート
 - ◆学校： 大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、PC接続ケーブル、書画カメラ、紙コップ8つ
- 版画和紙（10×15 cm ハガキ大）×2枚×児童数**
- ◆児童生徒： 筆記用具・色鉛筆

3. 実施場所例

■図工室や理科室のように、水道が使える部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	浮世絵とは	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・錦絵と肉筆画 ・美人画、役者絵、名所絵、うちわ絵、だまし絵等 ○絵師、彫師、摺師の共同作業であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇作品を見た印象と造形要素（色・形・構図）の関わりに注目させる。 ◇庶民生活の中に浮世絵が深く関わっていることを解説する。 ◇絵師・摺師・彫師の仕事を解説する
展開	25 45	浮世絵の作り方・摺りの方法 多色版画摺り体験 浮世絵の模写 浮世絵の観察	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に摺る様子を見学しその過程を知る。 ○自分で二色二版の版画を摺る。 ○好きな浮世絵を1枚選び、模写する。 ○実物の浮世絵を観察する。  	<ul style="list-style-type: none"> ◇富嶽三十六景神奈川沖浪裏を再現した版木で摺りの実演を行う。 ◇摺り方について、適宜アドバイスをする。
まとめ	85 90	浮世絵が西洋に与えた影響	<ul style="list-style-type: none"> ○浮世絵と印象派との関係を知る。 	

連携授業指導案 例8

「水墨画に挑戦」

※図工・美術向

1. ねらい

- 鑑賞及び表現の活動を通して水墨画に興味・関心をもつ。
- 濃淡・余白を生かした表現を学び、墨によるモノクロ表現の魅力を知る。

2. 準備物

- ◆博物館： 秋冬山水画の掛軸（複製）、各種水墨画用具・PC
- ◆学校： 大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、PC接続ケーブル、書画カメラ

清書用紙【鳥の子紙か画仙紙（八つ切り）か水墨画用紙を1人2枚】、墨の濃淡確認用紙（清書用紙と同じか半紙）、色画用紙（四つ切りを1人1枚）、千代紙【清書用紙の長辺の長さ×20mmを1人2枚】、

児童の完成した篆刻印（消しゴム印）←必要であれば事前準備、無くても可
マグネット、朱肉、のり、はさみ、新聞紙、トイレットペーパー

- ◆児童生徒：習字道具一式（大筆、小筆、墨汁、文鎮、下敷き、筆拭きタオル）、新聞紙

3. 実施場所例

- 図工室のように、水道が使える一人ひとりが前を向いて活動できる部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	水墨画表現の特徴	○水墨画作品を見て、気づいたことや感じたことを伝え合う。	◇作品を見た印象や表現方法に注目させる。
展開	15	墨の濃淡のつくり方	○描く準備をする。 ○三種類の濃淡の墨をつくり、試しの半紙に実際に描いて確認する。	◇状況に応じて個別指導。
	20	毛筆を使った濃淡・余白を生かした表現の工夫	○清書用紙に描く。	◇描く際のヒントや心構えについて提案。
		表装の仕方	○台紙に作品を貼り、一文字を付け、署名とともに押印して完成させる。	◇自分の名前を彫ったゴム印などを用意しておく。
まとめ	85 90	振り返り	○濃淡・余白の効果について、実際に描いてみて気づいたことや感想を発表する。	◇一人ひとりの作品の個性を評価する。



連携授業指導案 例9

「港の発展（神戸市のうつりかわり）」 ※小学校3年生向

1. ねらい

- 地域に関係のある教材を積極的に活用し、身近な地域の歴史に対する興味関心を高める。
- さまざまな資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら大きな港町へと変容していく様子を考察する。



2. 準備物

- ◆博物館：長谷川小信 画『摂州神戸海岸繁栄之図』（複製パネル）、コピー（児童数分）
鉄道レール（実物）、PC
- ◆学校：大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、
PC接続ケーブル、ホワイトボード&マーカー（または黒板&チョーク）
- ◆児童：筆記用具

3. 実施場所例

- 図書室や理科室のように、大きな机でグループ活動ができる部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	神戸のイメージ 開港と外国人居留地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが住んでいる神戸のイメージを発表する。 ○開港とともに、神戸のようすの変化を歴史資料から考察する。 ○神戸外国人居留地の形成について考え、地図で位置を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇港町神戸のイメージを膨らませる。 ◇開港と居留地の建設が外国文化を受け入れる背景となったことに気づかせる。 ◇現代の位置と繋がる様に解説する。
展開	15 30	外国から入ってきたものをさがそう！	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに『摂州神戸海岸繁栄之図』を見て、外国からどのような文化や習慣、生活用具が取り入れられたのかを話し合う。 ○グループごとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇適宜アドバイスする。 ◇発表を聞いて、補足説明をする。 
まとめ	35 45	川のつけかえ 近代化を象徴する実物資料 神戸市のうつりかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○川のつけかえの解説を聞く。 ○鉄道開通当時のレールを観察する。  <ul style="list-style-type: none"> ○港の発展とともに神戸のまちが発展したことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「生田川」「湊川」のつけかえ工事を解説する。 ◇鉄道開通に象徴される神戸の近代化について補足説明をする。 ◇さまざまな歴史資料から、神戸が港の発展とともに国際都市へと変容していったことを理解させる。

その他の授業例

「土器をつくろう」

土器の解説を聞いた後、実際に粘土で土器を作ります。
自然乾燥で仕上がる粘土を使用します。



移動博物館車「おきしお夢はこぶ号」

移動博物館車「おきしお夢はこぶ号」を運動場に展開し、
聖フランシスコ・ザビエル像や南蛮屏風など、当館が代表
する収蔵品のレプリカ展示をします。

※雨天の場合、体育館等を利用して展示することができます。
※連携授業と同時開催を希望する場合はご相談ください。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業内容の一部変更、または中止する場合があります。
※教材の購入準備は、学校でお願いします。